

三陸沿岸道路 気仙沼道路 「(仮称)気仙沼湾横断橋」で着工式を開催 ～気仙沼道路、いよいよ本格着工～

三陸沿岸道路の気仙沼道路（気仙沼～唐桑南）は、延長約9kmの自動車専用道路で、昨年度から改良工事に着工しており、一日も早い供用が望まれているところです。

この度、気仙沼道路の主要な構造物で初めての工事である、気仙沼湾を横断する橋梁工事に着手することとなりました。これにより、気仙沼道路で本格的に整備が進むこととなります。

つきましては、被災地の一日も早い復興と工事の安全、早期完成を祈念し、下記のとおり着工式を執り行うこととしましたのでお知らせいたします。

記

- 日 時：平成26年6月29日（日） 10時30分より
- 場 所：宮城県気仙沼市川口町地内（別添会場案内図参照）
- 主 催：宮城県
気仙沼市
国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所
- 着工式の内容：主催者挨拶、来賓祝辞及び地域期待の声、鍬入れ等

（参考）気仙沼道路の整備効果【別紙参照】
効果①：災害時における緊急輸送路の確保
効果②：高次救急医療施設への速達性の確保
効果③：気仙沼市の主要産業である水産業を支援

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、気仙沼記者クラブ>

（お問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
TEL 022-248-4131（代）

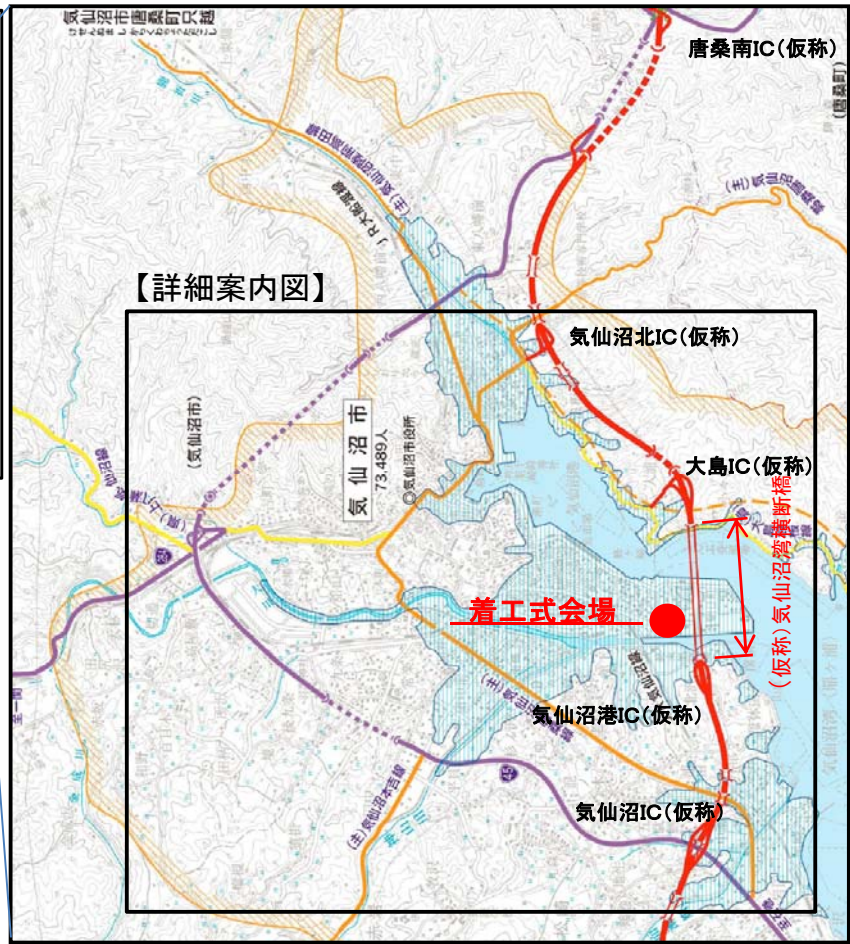
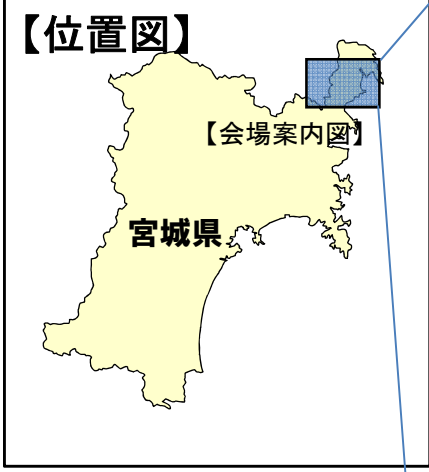
副 所 長 たぐち かずひろ 田口 和弘 （内線205）

設計課長 おいかわ てるひろ 及川 輝浩 （内線461）

三陸沿岸道路URL

【<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/fukkou/index.html>】

【会場案内図】



【詳細案内図】



気仙沼道路の整備効果

効果①: 災害時における緊急輸送路の確保

- ◆ 津波により国道45号等の幹線道路が通行止め
- ◆ 津波浸水域の回避により、大規模災害時でも緊急輸送路が確保され、緊急支援物資等の輸送が可能



① 国道45号の被災状況

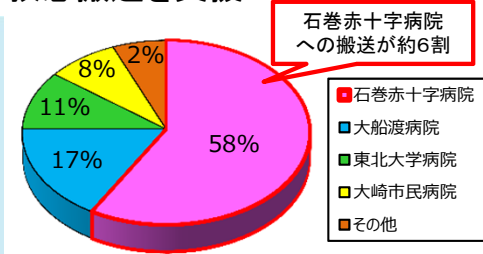


② 津波で瓦礫が山積み道路が寸断

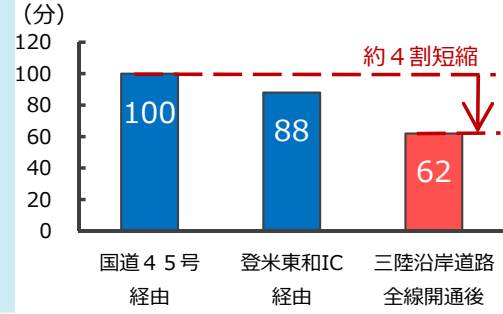
▲ 東日本大震災発生後の道路状況

効果②: 高次救急医療施設への速達性の確保

- ◆ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送は、石巻赤十字病院が約6割
- ◆ 搬送時間が約4割短縮し、迅速な救急搬送を支援



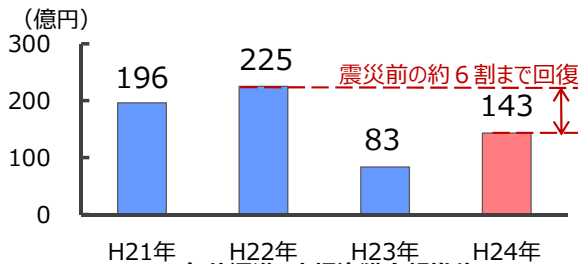
▲ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送割合



▲ 気仙沼市から石巻赤十字病院までの所要時間

効果③: 気仙沼市の主要産業である水産業を支援

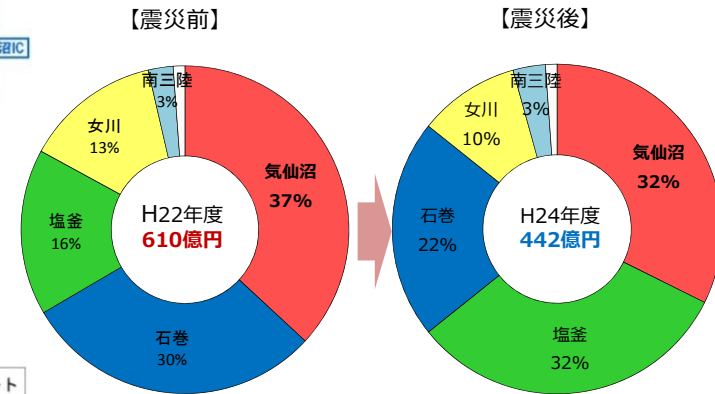
- ◆ 気仙沼港の水揚げ漁獲高は、震災以前の約6割まで回復
- ◆ 気仙沼道路の整備により、水産物等の輸送効率化・品質向上が図られ、主要産業である水産業の復興を支援



▲ 気仙沼港 水揚げ漁獲金額推移

輸送時間短縮による鮮度向上 → 商品価値の向上・さらに遠方へ出荷が可能に

▲ 三陸沿岸道路開通による出荷経路の変化



▲ 宮城県内の漁港別水揚げ漁獲金額のシェア

～ (仮称) 気仙沼湾横断橋の概要 ～

◆ 橋梁形式

- 海上部：① 3径間連続鋼斜張橋
- 陸上部：② 鋼7径間連続箱桁橋 + 鋼3径間連続箱桁橋
- 橋長：1,344m
(①680m+②664m)

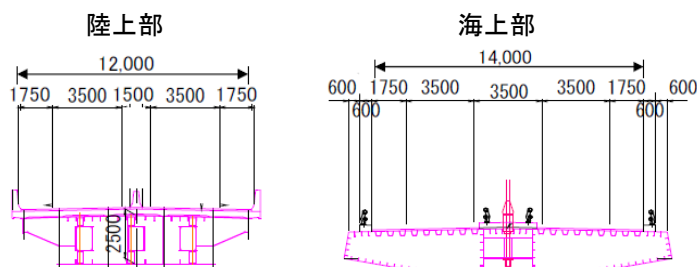
◆ 桁下クリアランス → 32m

- 既往最大通過船舶のマスト高に余裕高2m以上を加えた高さ
 - ・既往最大船舶
(貨物船 マスト高 29.287m)
 - ・想定津波高
(レベル2津波痕跡高、TP+10m)

◆ 橋脚天端 → TP+15m

- 天端は津波時水位より上
(鋼製主塔を海水にさらさない)
- 津波時漂流船舶の船首が主塔に衝突しない高さ
- 平常時に既往最大船舶の船首が主塔に衝突しない高さ

▼ (仮称) 気仙沼湾横断橋の全体イメージ



▲ 標準断面図

【海面から橋桁までの高さ32m】
・航路確保及び津波漂流物を回避

